

## 1945～70年の少女雑誌とジェンダー

今田 絵里香

(京都大学大学院文学研究科グローバル COE 助教)

2011年4月



京都大学グローバル COE  
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科  
Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

本論文は、戦後の『少女の友』『女学生の友』の小説と読者通信欄を分析し、両雑誌に異性愛文化が導入される際の論理とそれがもたらした影響を明らかにするものである。分析によると、両雑誌は1955年以降異性愛文化を導入することがわかった。そして『少女の友』ではエス（少女同士の親密な関係）から異性愛へ、センチメンタルから明朗へ、少女小説から少女マンガへ価値が転換し、前者が否定され後者が肯定されることが明らかになった。（※なお、本論文は「戦後日本の『少女の友』『女学生の友』における異性愛文化の導入とその論理——小説と読者通信欄の分析——」『国際児童文学館紀要』第24号〔財団法人大阪国際児童文学館、2011年3月〕を再収録したものである）

キーワード：ジェンダー、セクシュアリティ、エス、異性愛、少女雑誌

2009 年度次世代研究「1950 年代の少女雑誌とジェンダー」（研究代表：今田絵里香）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2009 年度プロジェクト時点

今田 絵里香 （京都大学大学院文学研究科グローバル COE 助教）